

妊娠期間

牛の妊娠期間は、ホルスタイン種や黒毛和種で 275~285 日前後と知られています。

色々な方とお話をしていると黒毛和種の受精卵移植をした牛の分娩予定が過ぎても生まれて来ないなど妊娠期間が伸びている話をよく聞きます。

教科書的には低栄養であるほうが妊娠期間は長くなるそうです。ホルスタインが黒毛和種の受精卵を移植すると、黒毛和種の妊娠期間となるという報告もあります。

その中で、噂によく聞く分娩が長くなる黒毛和種の種牛は「安福久」と言われています。

「安福久」は全国的に使用された種牛ですが、今では貴重な血統となり採卵される殆どのドナー牛は「安福久」です。「久」母体の受精卵が移植された結果、受精卵移植された牛の妊娠期間が伸びる理由なのかもしれません。

GL(Gestation Length)

「安福久」の妊娠期間が伸びる理由は何かを探すため、黒毛和種のブルブックなどのデータを見ても分娩に関する指数はありませんでした。

そこでホルスタイン種で探した結果、分娩難易度や死産率など昔から見られている指数があるなか、ゲノム解析が進み近年 GL (妊娠期間) という指数が公表されるようになりました。

GL は妊娠の長さを表していて短くなる方が好ましいとされ改良が進められています。

GL のアベレージは -5.6 日 ~ +6.4 日の範囲とされ、アメリカのホルスタイン種雄牛の遺伝率から算出されています。

遺伝率

泌乳形質	・乳脂量 ・乳蛋白質量	0.49 0.42	GL 0.48
体型	・体型 ・乳器	0.27 0.20	
管理形質	・体細胞 ・気質	0.06 0.08	

図を見ると泌乳形質の遺伝率が一番高く、その次に体型、管理形質と遺伝率は下がっています。その中で **GL の遺伝率 0.48** は高いことか分かります。

「安福久」の話に戻すと黒毛和種に GL のようなデータは無いですが、ゲノム解析の進んだホルスタイン種の GL 遺伝率を見ると、「安福久」の GL が伸びる可能性は十分あり得る話だと考えられます。

ホルスタイン種は GL が短い方へと改良が進むなか、おそらく黒毛和種の GL は長くなると考えられます。

今後、乾乳のタイミングなど考え直す必要があるのか、受精卵移植をした牛の分娩予定が過ぎた場合、確認作業として血統を見ただけいたらと思います。

おおた